



東京国際空港再拡張事業の概要



【背 景と概 要】

- 羽田空港は、航空需要の増加から発着能力が既に限界であり、発着容量の制約によるボトルネックの解消が 急務となっている。
- このため、平成22年10月末の供用開始に向け、再拡張事業を着実に実施。

【事業概略図】



【事業費と財源スキーム】

- ○全体事業費 約7,500億円
- 〇整備事業費の約2割について、地方公共団体が 無利子貸付にて協力
- ○残りの事業費については、概ね、国費(一般会計 から受入):財投=3:5で手当て

【事業の意義】

- 1. 発着容量の制約の解消
- 2. 多様な路線網の形成・多頻度化による利用者利便の向上
- 3. 航空市場における真の競争を行わせるための環境整備
- 4. 都市の国際競争力強化(都市再生)
- 5. 地域交流の促進、地域経済の活性化

再拡張により発着容量が大幅に増加

〔再拡張前〕 (H19.9.1時点)

30. 3万回/年 (31便/時間) 〔再拡張供用開始時〕 (H22.10時点)

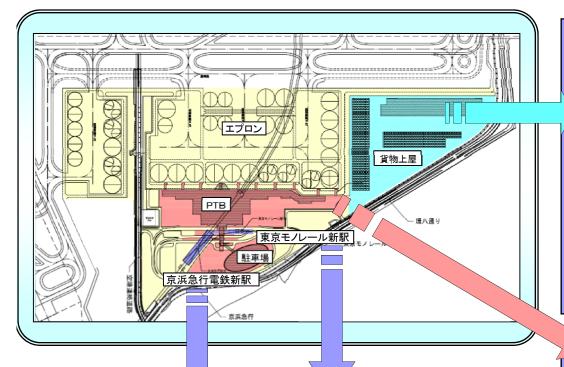
、37.1万回/年、 昼間は33.1万回/年 33便/時間 〔再拡張後〕 (最終形)

44.7万回/年、 昼間は40.7万回/年 40便/時間

- ※ 発着回数の増加は、空港運用の慣熟により安全を確保しつつ段階的に実施
 - 〇平成19年3月30日 本格着工
 - 〇平成22年10月21日 供用開始(予定)
 - 〇平成22年10月31日 国際定期便就航(予定)

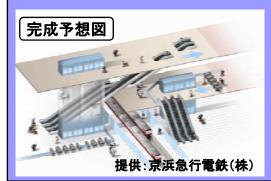
東京国際空港国際線地区の整備状況







京浜急行電鉄による 新駅の整備事業 東京モノレールによる 新駅等の整備事業

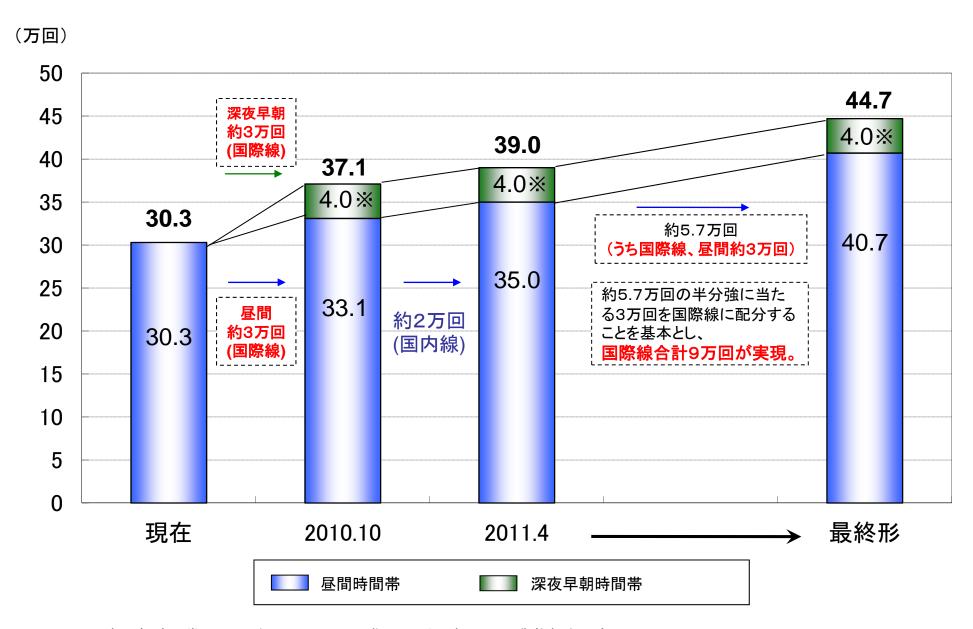






東京国際空港の発着回数の増加について





※ 深夜早朝時間帯4万回のうち、1万回は国際チャーター便や国内貨物便を予定。